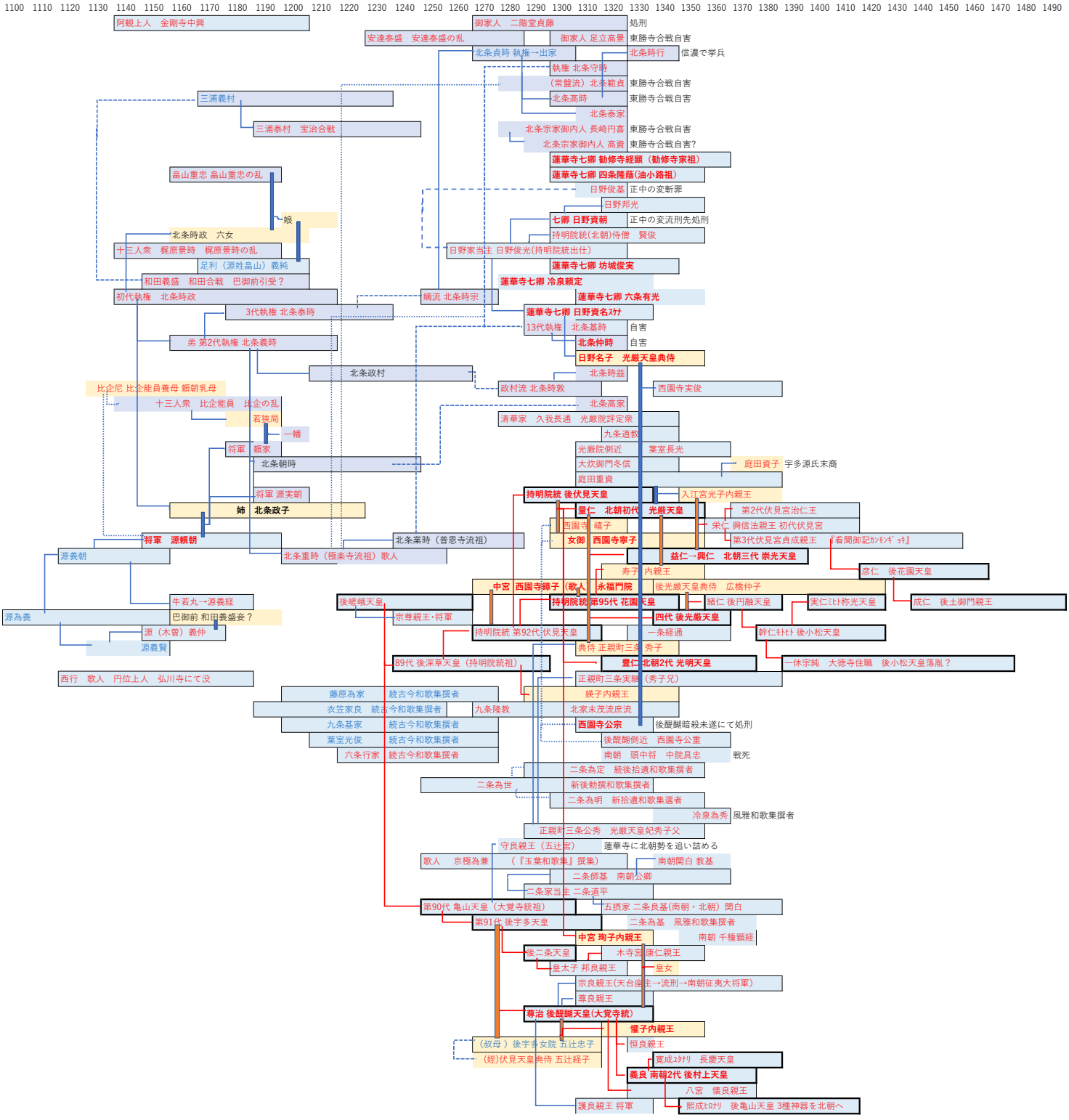
1100 1110 1120 1130 1140 1150 1160 1170 1180 1190 1200 1210 1220 1230 1240 1250 1260 1270 1280 1290 1300 1310 1320 1330 1340 1350 1360 1370 1380 1390 1400 1410 1420 1430 1440 1450 1460 1470 1480 1490
阿闍上人　金剛寺中興
御家人　二階堂貞藤
処刑
安達泰盛　安達泰盛の乱
御家人 足立高景
東勝寺合戦自害
北条貞時 執権→出家
北条時行
信濃で挙兵
執権 北条守時
（常盤流）北条範貞
東勝寺合戦自害
三浦義村
北条高時
東勝寺合戦自害
北条泰家
三浦泰村　宝治合戦
北条宗家御内人 長崎円喜
東勝寺合戦自害
北条宗家御内人 高資
東勝寺合戦自害?
蓮華寺七卿 勧修寺経顕（勧修寺家祖）
蓮華寺七卿 四条隆蔭(油小路祖)
畠山重忠 畠山重忠の乱
日野俊基
正中の変斬罪
日野邦光
娘
七卿 日野資朝
正中の変流刑先処刑
北条時政　六女
持明院統(北朝)侍僧　賢俊
十三人衆　梶原景時　梶原景時の乱
日野家当主 日野俊光(持明院統出仕)
足利（源姓畠山）義純
蓮華寺七卿 坊城俊実
和田義盛　和田合戦　巴御前引受？
蓮華寺七卿 冷泉頼定
初代執権　北条時政
嫡流 北条時宗
蓮華寺七卿 六条有光
3代執権 北条泰時
蓮華寺七卿 日野資名ｽｹﾅ
13代執権　北条基時
自害
弟 第2代執権 北条義時
北条仲時
自害
日野名子　光厳天皇典侍
北条政村
北条時益
比企尼 比企能員養母 頼朝乳母
政村流 北条時敦
西園寺実俊
十三人衆　比企能員　比企の乱
北条高家
若狭局
清華家　久我長通　光厳院評定衆
一幡
九条道教
将軍　頼家
北条朝時
光厳院側近　葉室長光
大炊御門冬信
庭田資子
宇多源氏末裔
庭田重資
将軍 源実朝
持明院統 後伏見天皇
入江宮光子内親王
姉　北条政子
量仁　北朝初代　光厳天皇
第2代伏見宮治仁王
西園寺　禧子
栄仁 興信法親王 初代伏見宮
将軍　源頼朝
北条業時（普恩寺流祖）
女御　西園寺寧子
第3代伏見宮貞成親王
『看聞御記ｶﾝﾓﾝｷﾞｮｷ』
源義朝
北条重時（極楽寺流祖）歌人
益仁→興仁　北朝三代 崇光天皇
寿子 内親王
彦仁　後花園天皇
中宮 西園寺鏱子（歌人）
永福門院
後光厳天皇典侍　広橋仲子
牛若丸→源義経
後嵯峨天皇
持明院統 第95代 花園天皇
緒仁 後円融天皇
実仁ﾐﾄﾋﾄ称光天皇
成仁　後土御門親王
源為義
巴御前 和田義盛妾？
宗尊親王・将軍
四代 後光厳天皇
源（木曽）義仲
持明院統 第92代 伏見天皇
一条経通
幹仁ﾓﾄﾋﾄ 後小松天皇
源義賢
典侍 正親町三条秀子
89代 後深草天皇（持明院統祖）
豊仁 北朝2代 光明天皇
一休宗純　大徳寺住職　後小松天皇落胤？
西行　歌人　円位上人　弘川寺にて没
正親町三条実綱（秀子兄）
藤原為家　統古今和歌集撰者
娍子内親王
衣笠家良　統古今和歌集撰者
九条隆教
北家末茂流庶流
九条基家　統古今和歌集撰者
西園寺公宗
後醍醐暗殺未遂にて処刑
葉室光俊　統古今和歌集撰者
後醍醐側近　西園寺公重
六条行家　統古今和歌集撰者
南朝　頭中将　中院具忠
戦死
二条為定　統後拾遺和歌集撰者
二条為世
新後勅撰和歌集撰者
二条為明　新拾遺和歌集選者
冷泉為秀
風雅和歌集撰者
正親町三条公秀　光厳天皇妃秀子父
守良親王（五辻宮）
蓮華寺に北朝勢を追い詰める
歌人　京極為兼
（『玉葉和歌集』撰集）
南朝関白 教基
二条師基　南朝公卿
二条家当主 二条道平
第90代 亀山天皇（大覚寺統祖）
五摂家 二条良基(南朝・北朝）関白
第91代 後宇多天皇
二条為基　風雅和歌集撰者
中宮 珣子内親王
南朝 千種顕経
後二条天皇
木寺宮康仁親王
皇太子 邦良親王
皇女
宗良親王(天台座主→流刑→南朝征夷大将軍)
尊良親王
尊治 後醍醐天皇(大覚寺統)
懽子内親王
（叔母）後宇多女院 五辻忠子
恒良親王
（姪)伏見天皇典侍 五辻経子
寛成ﾋﾛﾅﾘ　長慶天皇
義良 南朝2代 後村上天皇
八宮　懐良親王
護良親王 将軍
熙成ﾋﾛﾅﾘ　後亀山天皇 3種神器を北朝へ